

試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	ゲムシタピン+ナブパクリタキセル併用療法における投与調節方法の比較と影響因子の検討
	研究目的	ゲムシタピン+ナブパクリタキセル併用療法において、投与量減量、又は治療間隔の変更をして投与した場合の治療継続期間への影響、並びに投与量や治療間隔に影響を及ぼした AE を調べるため
	研究対象者	2018年1月1日～6月30日の間にゲムシタピン+ナブパクリタキセル併用療法を一次治療として3クール以上施行した膵癌患者 33名
	研究期間	西暦 2020年3月3日～西暦 2020年3月14日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	丸田 愛美
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	薬剤科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし